



ドイツ小旅行



8月2日の厚生クラブは、ドイツへ小旅行に行ったかのような感覚を覚えました。決してヨーロッパのドイツへ行ったわけではありません。ドイツの古城をイメージしたレストランでの食事会でした。その場所は、はままつ地ビール工房 マイン・シュロス。JR浜松駅から徒歩数分の場所です。

マインシュロスとは、ドイツ語で「私の城」という意味のようですが、建物も室内の雰囲気もまさにその通りでした。

醸造施設でもドイツ企業製の設備を使用しているようで、そこから届く出来立ての地ビールは格別でした。

コンセプトをはっきりさせ、細部まで徹底されたビジネススタイルを体感し、普段会う事の少ない他の工場のメンバーともグローバルな環境の中で語り合う事ができました。

ただの食事会では無い、学びや気付きを得られた貴重な120分でした。



会長より

謙虚が人を育てる

ネット社会の今日、自分の欲する情報は何でも手に入る。スマホが登場してますます便利になった。しかし、このスマホを使いこなすには人に教えてもらわなければならない。商工会議所のパソコン教室はいつも満員の受講者でいっぱいだ。そこで若い者に教わるのだが、頑固者にはなかなか身につかない。

わが社は特殊電源のシステムメーカーだが技術の進歩は日進月歩である。顧客の要求はどんどん高くなり社員全員がすべての分野で最高の技術で自己成長を求められ、まさに世界競争である。

人間社会は文字通り人と人との関係で成り立っている。ネット社会といえども人間関係を無視しては通れない。注文主も受ける側も自分の意思を的確に交換しなければ思い通りの製品にはならない。

単品から中量産まで対応する受注生産の当社の社員は全員がコミュニケーション力を求められる。相手の意思を的確に把握する能力を必要とされるが、このことは仕事だけでなく家庭でも、社会活動でも必要であり自己成長の道具だから、しっかり身に付けてほしいと社員にお願いしている。

新しいことを人から学ぶ場合、パソコンが上達しない自分を顧みて、学ぶ側の強い意志が絶対に必要である。そして頑固にならず謙虚に学ぶ姿勢を持って求める目標までしっかりと身に付けること。

新しい技術開発にはスピードとコストが要求される。そのため自分自身で疑問点を絞り込んだ上で指導を受けなければならない。傲慢は捨て謙虚になって学びとることである。

我々は様々な場面で学ぶ機会がある。会合や講演会、顧客、仕入れ先など様々な出会いの中で思うことは、出会う人みな師である。

人それぞれに生き方考え方が違うが、謙虚な姿勢で聞いていると学べるのがいっぱいある。頑固な姿勢では相手の言葉に批判的な受け止め方になり何も身につかない。

成りたい自分を強烈に描き、謙虚な姿勢で人と接する。仕事は目標達成になりたい自分をリンクさせ、接する人の知恵を謙虚に借り自分を育てる。これが仕事を通じて自己成長することである。

会長 太田 顯

思い出の写真 一佐藤 雅史さん一

この写真はいつ撮りましたか？

2007年9月

どこで撮りましたか？

初めての行った中部国際空港(セントレア)にてたまたまトヨタの未来カーの展示が有り撮りました。

この写真に対する思い出を一言

未来の車こうなるんだろうかと考えながら写しました。



アンケート 今回のアンケートは竹下 ゆきさんです

- Q:マイブームは何ですか？ A: コンビニ(セブン)のアイスコーヒーにハマってます!!
- Q: 休日は何をして過ごしていますか？ A: 遊びに行ってます。
- Q: 今一番気に掛かっていることは？ A: 姪っ子の成長の早さ!!
- Q: 生まれ変わったら何になりたいですか？ A: お金持ち!!!
- Q: 宝くじで100万円当たったら何をしますか？ A: 海外旅行!!
- Q: 地球最後の日に食べたいものは？ A: チーズケーキ
- Q: 今一番困っている事はなんですか？ A: 先月、富士登山をした時にできた腕の日焼けが全然消えないこと。。。
- Q: お盆休みの思い出は？ A: 東京に遊びに行ってきました!!

和らぎ

室生寺【奈良県宇陀市】

山号をうー山(べんいちさん)と号する。奈良盆地の東方、三重県境に近い室生の地にある山岳寺院。平安時代前期の建築や仏像を伝え、境内はシャクナゲの名所としても知られる。女人禁制だった高野山に対し、女性の参詣が許されていたことから「女人高野」の別名がある。なお、山号の「うー」は「室」のうかんむりと「生」の最後の一点だという。



夏から秋へ

9月といえば夏から秋へ季節が変わる月です。長かった昼が短くなり、夜が少しずつ長くなっていきます。1年で最も月が美しいとされる「中秋の名月(ちゅうしゅうのめいげつ)」もこの月にあります。

と、ということで今回は「中秋の名月」について書こうと思います。

中秋の名月とは、旧暦8月15日の夜の月のことをと言います。

「十五夜お月さん」とも言うそうです。お月見をするのもこの日です。

仲秋(8月)にお月見をするのは、夏の作物の収穫もほとんど終わって、稲刈りをするまでの手のあく時期に、稲の豊作を祈る祭りを行ったことが始まりとされていますが(稲の豊作祈願ではなくもともとは芋類の収穫祭、すなわち畑作儀礼だったと考えられているという説も)、実際には正確な起源は分かっていません。また、中国からの渡來說も有力です。

お隣の中国ではかなり古くから「望月(月を見る催し)」という行事があり、それが平安時代に遣唐使によって伝えられたものが日本で広がったとする説です。

「お月見」についての日本で最初の記録は、延喜9年(909年)に醍醐天皇が初めて月見の宴を開いたとの記録だそうです。

しばらくは高級貴族達だけの風習でしたが、江戸時代になると一般庶民にも広まり、ポピュラーな行事となりました。

今年の「中秋の名月」は9月8日です。良い天気で綺麗なお月様を見たいですね☆



編集担当より

今年の夏は、初めて日焼け止めを購入しました。日差しを浴びる準備万端でしたが、雨も多く未だ開封していません。せっかくなので9月じゅうに出番があればなと思っています。

伊藤

率直なご意見・ご感想をお待ちしております。
general@apollo-elec.co.jp

発行  アポロ電気株式会社

〒438-0004 ★ホームページをリニューアルしました。
静岡県磐田市勾坂中1600-11 磐田さざさか工業団地
TEL:0538-38-2228 FAX:0538-38-2898
URL: <http://www.apollo-elec.co.jp>

編集担当: 島・杉山 伊藤 横井・井上 発行日 平成26年9月1日